



お一人でも、どなたでも
お気軽にご参加いただけます。

浄心道場

じょうしんどうじょう

“心みがきの価値ある日曜日”

2021年 保存版

http://myouhouji.jp

浄心道場

じょうしんどうじょう

“心みがきの価値ある日曜日”

第一部

お経と瞑想とご祈祷の時間



供養会 【15:00～15:45】

皆様と共にお経をお唱えし、修法祈祷を行い、日頃なげなく積もってしまう心の垢とも言える「罪障」を払います。また、「先祖供養」「御祈願」をご希望の方には、先祖供養一霊位、一祈願ともに500円で承っております。ご希望の方は当日受付にてお申してください。

第二部

法話の時間



法話会 【16:00～17:00】

法話会は宗派を超えた僧侶による法話や座禅などを通して、仏教をわかりやすく学べる時間としています。多様な講師をお招きし、文化や社会問題など様々なセミナーを開催しております。若い方からご年配の方までお気軽にご参加ください。

お寺で参加される方 当日このチラシをお持ちいただくか、または、受付にてチラシを見たとお伝えください。

ご予約の必要はありません。
当日お寺にお越しください。

参加費はお気持ちを
お賽銭箱にお入れください。

ご準備いただくものは特にありません。
手ぶらでお越しください。

供養会、法話会、どちらかのみの
ご参加でも構いません。

宗派を問わず、どなたでも
ご参加頂けます。

過去の浄心道場の様子は
ホームページからご覧頂けます。

駅からバスでお越しの方

JR 横須賀線・東戸塚駅
JR 東海道線・横須賀線・戸塚駅

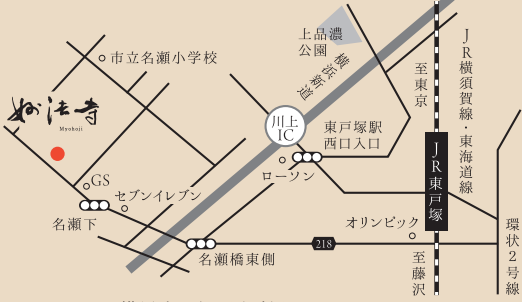
いずれも『妙法寺』下車

●東口2番「緑園都市駅」「弥生台駅」行
●西口1番「新戸塚病院前循環 東戸塚駅西口」行
●東口7番「緑園都市駅」行

お車でお越しの方

横浜新道「川上IC」下車から5分。
境内には25台、墓地には50台ほど駐車可能。

交通のご案内



〒245-0051 横浜市戸塚区名瀬町772-4

どうぞお気軽に電話やメールなどでお問い合わせください。

045-811-0256

FAX 045-812-7676
E-mail info@myouhouji.jp
http://myouhouji.jp



日蓮宗宗門史料
名瀬 妙法寺

横浜妙法寺

検索



参加
家で

オンラインで参加される方

参加費 500円
または お賽銭付き参加費 1,000円

手順1 お申込みは参加チケットをPeatixから購入します。

パソコンから



<http://peatix.com/>
Peatixトップページより
浄心道場と検索。

スマートフォンから



QRコードを読み取り後、
Peatixトップページより
浄心道場と検索。

Peatix



手順2 初めてPeatixをご利用するには、アカウントの登録が必要です。

浄心道場申込み画面から、チケットを購入します。登録画面に進みますので、お名前やメールアドレスをご登録ください。



購入・申込み
こちらをクリック

新規登録、または
アカウントをお持ちの方はログイン

手順3 Peatixより確認メールが届きます。



登録後に確認メールが届きます。配信用のアドレスなどイベントについて詳細が記載されておりますので、当日まで大切に保管してください。

手順4 当日、メールに記載されている配信用のアドレスをクリックして参加します。

当日、メールに記載されている配信用のアドレスをクリックして、YouTubeの配信画面へと進みます。時間となりましたら配信が始まります。

浄心道場
法話会のお知らせ

【毎月第一日曜日
1・8月 休会】

妙法寺では、毎月第一日曜日『心みがきの価値ある日曜日』をテーマに浄心道場を開催しております。ストレス社会と言われる現代を生きる私たちには、知らず知らずのうちに三毒（貪り・怒り・愚痴）という煩惱によって、自らを苦しめ悩ませていきます。その不浄な心、疲れた心を日曜日の夕方にスッキリさせ、癒やし清らかにしませんか？宗派を問わず、どなたでもご参加頂けます。オンライン浄心道場も始まりましたので、詳しくは裏面をご覧ください。

参加者へ

オンライン
浄心道場も
始めました！

<http://myouhouji.jp>

◇ 如月 Kisaragi



人生を豊かにする仏教

日蓮宗 妙法寺 住職/ 浄心道場 道場主
久住 謙昭 くすみ けんしょう 2/7 (日)

仏教は今を生きる人がより良く人生を歩むためのお釈迦様の教えであります。私たちが普段何気なく使っている言葉の中にも、実は仏教の教えが込められており、日常にはたくさんの仏教の智慧がちりばめられています。「ほんの少し日常が生きやすくなる」そんな生きる勇気をもらえる仏教の智慧を紐解いてお伝えします。

Point 人生のコンシェルジュを目指しています

◇ 弥生 Yayoi



釈尊 その偉大なる旅
～二人で行くなかれ～

曹洞宗 宝林寺 住職/ 東北福祉大学 学長
千葉 公慈 ちば こうじ 3/7 (日)

初期仏典において、ブツダは多くのメッセージをのこしています。そこには、どのような心構えで人生を送るべきかなど、“生きる知恵”が巧みに説かれています。今回ブツダの生涯における最後のメッセージをたどりながら、現代における仏教の意義を考えます。

Point テレビ朝日「ふっちゃんけ寺」でお馴染みの博識なお坊さん

◇ 卯月 Uzuki



金子みすゞ いのちへのまなざし
～詩と歌と物語～ 浦上智照ひとり舞台

浄土真宗 慈陽院なごみ庵 坊主
浦上 智照 ぼうり ちしょう 4/4 (日)

「若き童謡詩人の巨星」と称賛されながら、26歳の若さで世を去った金子みすゞ。その詩に、いのちへの優しさを織り込み続けた彼女は、どんな人生を歩み、どんな思いで詩を紡ぎ、なぜ自らのいのちを断たねばならなかったのか。お芝居を通じて皆さまと感じていきたいと思っています。

Point 尼僧であり女優の庄巻のお芝居をご期待ください！

◇ 皐月 Satsuki



「いただきます」を
本気でやってみませんか？

浄土真宗 東本願寺派 緑泉寺 住職
青江 覚峰 あおえ かくほう 5/2 (日)

普段なら2口ほどで食べてしまうお菓子をゆつくりと時間をかけて食べ、「目の前の食べ物は一体どこから来て、どんな人が関わってここにやってきたのか？」とお経に書かれている問いを皆様と考えます。食べ物を「いただく」ということがどんな事なのか、腑に落ちるものが見えてきます。

Point 「さちのお寺ごはん（漫画・ドラマ）」原作監修のお坊さん

◇ 水無月 Minazuki



臨済宗の坐禅体験

臨済宗 妙心寺派 龍雲寺 住職
細川 晋輔 ほそかわ しんすけ 6/6 (日)

世界から注目され、ビジネスパーソンやスポーツ選手が熱中する「禅」。何か特別な効果があるように思われるかもしれませんが、何ら得るものがないものが坐禅なのです。何かを得るためではなく、心にあるものを捨てていくための、伝統的な臨済宗の坐禅を体験していただきます。

Point 大河ドラマ「おんな城主 直虎」の禅宗指導したお坊さん

◇ 文月 Fuzuki



僧侶になった弁護士
～菩薩道としての弁護士業～

日蓮宗 常立寺 僧侶/ 弁護士
服部 功志 はっとり こうし 7/4 (日)

どんなに今は苦しんでいても必ず光は見える。弁護士として、事件や事故を通じて、様々な人の苦しみや憎しみに寄り添う毎日を送ってきました。そんな坊さん弁護士の修行の日々を紹介し、菩薩道について皆様と共に考える時間にできれば幸いです。

Point 僧侶と弁護士の2つの目と心で人々と向き合います。

◇ 長月 Nagatsuki



なくしたものとつながる生き方

一般社団法人 リヴオン代表
尾角 光美 おかく てるみ 9/5 (日)

大切な人をなくしたり、死別でなくとも、日々の中に自分が大事にしてきたものを失った体験は誰しもあるのではないのでしょうか。失ったことを「乗り越えて」いく生き方ではなく、そのことを大切に抱きながら生きていくこと。失った人やものとの繋がりについて、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

Point “ありのまま生きる”ヒントをもらいます。

◇ 神無月 Kannazuki



成仏の証拠
～目に見えないものを見つける～

日蓮宗 京都 本光院 住職
上田 尚史 うえだ しょうじ 10/3 (日)

「おい坊さん！ 兄貴は成仏したか？」突然、お葬式で投げつけられた言葉に、しどろもどろになる私。実際にあった体験をもとに成仏の証拠を探していきます。私たちもいつか必ず「死」を迎えます。皆様も一緒に探してみませんか。

Point 若手説教師のホープ！一度は聞いてもらいたい法話です。

◇ 霜月 Shimotsuki



御会式 おえしき
妙法寺 午後5時～※

※通常のご供養・ご新焼はございません。
また、開始時間も異なりますのでご注意ください。

11/7 (日)

弘安5年10月13日に御入滅（ご逝去）されました日蓮宗の宗祖である日蓮聖人の遺徳をたたえる法会を行います。法要後には、年に一度の“妙法寺感謝祭”とし、落語やコンサートなど毎年趣向を変えた余興をお楽しみいただきます。

Point 日蓮宗伝統の法要をぜひご体験ください。

◇ 師走 Shiwasu



慈悲と敬いと感謝の実践
～南無妙法蓮華経のこころ～

日蓮宗 妙法寺 住職
久住 謙昭 くすみ けんしょう 12/5 (日)

妙法寺は日蓮宗のお寺で、法華経というお経をよみ、「南無妙法蓮華経」とお唱えします。では「南無妙法蓮華経」とは一体どのような教えなのでしょう。瀬野泰光先生の本をテキストに、法華経の精神と生き方を紐解きます。

Point テキストをご準備しております。